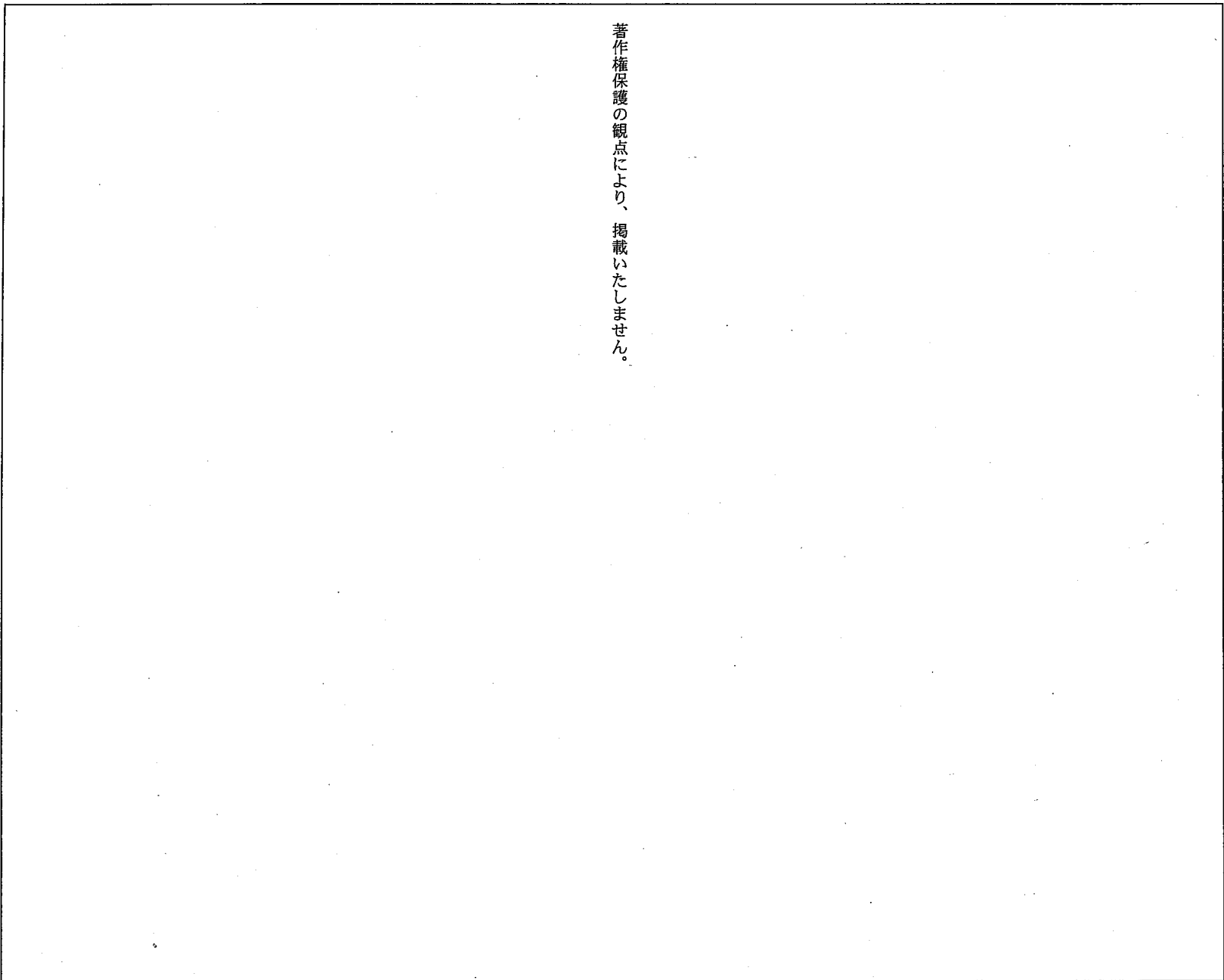


(七枚のうち一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(七枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(大岡 昇平「現代小説作法」による。)

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問一 ①～⑥の語について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを書きなさい。

問二 1 それは何を指しますか。二十字以内で書きなさい。

問三 2 「こき下ろしています」とありますが、漱石がこのようにゾフォを低く評価したのはなぜですか。その理由を、小説の描写についての漱石の考え方にふれて書きなさい。

問四 A にあてはまる最も適切な語を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 完璧 イ 杞憂 ウ 蛇足 エ 矛盾

問五 3 スリルは遊離して、読者の神経だけを刺激すると、ありますが、これはどのようなことを述べようとしたものですか。書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の文章A～Cを読んで、問一～問三に答えなさい。

A

このおとど、子どもあまたおはせしに、女君達は婿とり、男君達は、皆ほどほどにつけて位どもおはせしを、それも皆方々に流されたまひてかなしきに、幼くおはしける男君・女君達慕ひ泣きておはしければ、「小さまはあへなむ」と、おほやけもゆるさせたまひしぞかし。帝の御おきて、きはめてあやにくにおはしませば、この御子どもを、同じ方につかはさざりけり。かたがたにいとかなしく思し召して、御前の梅の花を御覧じて、

東風吹かばにほひおこせよ梅の花あるじなしとて春を忘るな
また、亭子の帝に聞こえさせたまふ、

1 流れゆく我は水屑となりはてぬ君しがらみとなりてとどめよ

なきことにより、かく罪せられたまふを、かしこく思し嘆きて、やがて山崎にて出家せしめたまひて、都遠くなるままに、あはれに心ほそく思されて、

君が住む宿の梢をゆくゆくとかくるるまでもかへり見しはや

また、播磨国におはしましつきて、明石の駅といふ所に御宿りせしめたまひて、駅の長のいみじく思へる気色を御覧じて、作らしめたまふ詩、いとかなし。

2 駅長驚クコトナカレ、時ノ変改

一栄一落、是レ春秋

(駅長莫驚時変改 一栄一落是春秋)

かくて筑紫におはしつきて、ものをあはれに心ほそく思さるる夕、をちかたに所々煙立つを御覧じて、

夕されば野にも山にも立つ煙なげきよりこそ燃えまさりけれ

また、雲の浮きてただよふを御覧じて、

3 山わかれ飛びゆく雲のかへり来るかげ見る時はなほ頼まれぬ

さりともと、世を思し召されけるなるべし。月のあかき夜、

海ならずたへる水のそこまでにきよき心は月ぞ照らさむ

これいとかしこくあそばしたりかし。げに月日こそは照らしたまはめとこそはあめれ。

まことに、おどろおどろしきことなるものにて、かくやうの歌や詩などをいとならかに、ゆゑゆゑしう言ひつづけまねぶに、見聞く人々、目もあやにあさましく、あはれにもまもりあたり、もののゆゑ知りたる人なども、むげに近く居寄りて外目せず、見聞く気色どもを見て、いよいよはえてものを繰り出だすやうに言ひつづくるほどぞ、まことに希有なるや。繁樹、涙をのびひつつ興じゐたり。

4 筑紫におはします所の御門かためておはします。大式の居所は遙かなれども、楼の上の瓦などの、心にもあらず御覧じやられけるに、またいと近く観音寺といふ寺のありければ、鐘の声を聞こし召して、作らしめたまへる詩ぞかし、

都府楼ハ纒ニ瓦ノ色ヲ看ル

観音寺ハ只鐘ノ声ヲ聴ク

(都府楼纒看瓦色 観音寺只聴鐘声)

これは、文集の、白居易の「遣愛寺ノ鐘ハ欲^テ枕ヲ聴キ、香炉峯ノ雪ハ撥^ゲテ 簾ヲ看ル」といふ詩に、まささまに作らしめたまへり
とこそ、昔の博士ども申しけれ。

(「大鏡」による。)

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

不出門 門を出でず 菅原道真

一從謫落在柴荊 一たび謫落せられて柴荊に在りてより

万死兢兢踟躕情 万死兢兢たり踟躕の情

都府楼纔看瓦色 都府楼には纔かに瓦の色を見る

観音寺只聽鐘声 観音寺には只だ鐘の声をのみ聴く

中懷好逐孤雲去 中懷は好し孤雲に逐ひて去る

外物相逢満月迎 外物は相逢ひて満月ぞ迎ふる

此地雖身無檢繫 此地は身の檢繫せらるることなくとも

何為寸歩出門行 何為れぞ寸歩も門を出でて行かむ

(「菅家後集」による。)

C

香炉峯下、新ト山居、草堂初成。偶題東壁 香炉峯下、新たに山居をトし、草堂初めて成る。偶たま東壁に題す 白居易

日高睡足猶慵起 日高く 睡り足りて 猶ほ起くるに慵し、

小閣重衾不怕寒 小閣 衾を重ねて 寒を怕れず。

遺愛寺鐘欵枕聽 遺愛寺の鐘は、枕を欵てて聴き、

香炉峰雪撥簾看 香炉峯の雪は 簾を撥けて看る。

匡廬便是逃名地 匡廬は便ち是れ 名を逃るる地、

司馬仍為送老官 司馬は仍ほ 老を送るの官為り。

心泰身寧是帰処 心泰かに 身寧きは 是れ帰処なり、

故郷可独在長安 故郷 可に独り 長安に在るのみならんや。

(「白氏文集」による。)

問一

平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 古典B 2 内容 (1) エ には、「古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。」と示されています。内容や表現の特色を踏まえて、「大鏡」の作品の価値について探究する学習をすることとします。どのような活動の例が考えられますか。書きなさい。

問二

1 流れゆくわれは水屑となりはてぬ君しがらみとなりてとどめよ、2 駅長驚クコトナカレ、時ノ変改 一栄一落、是レ春秋、3 山わかれ飛びゆく雲のかへり来るかげ見る時はなほ頼まれぬ とありますが、詩歌に詠まれている心情を展開に即してそれぞれ簡潔に書きなさい。

問三

4 筑紫におはします所の御門かためておはします とありますが、平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 古典B 2 内容 (2) イ に「同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。」と示されています。A及びB・Cの内容を踏まえて、この場面における登場人物の心情について説明させる指導を行うこととします。どのような目標を設定しますか。書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。

さて谷にはすべき方なくて、石のそばの、折敷の広さにてさし出でたる片そばに尻をかけて、木の枝をとらへて、少しもみじろぐべき方なし。いささかもはたらかば、1谷に落ち入りぬべし。いかにもいかにもせん方なし。かく鷹飼を役にて世過せど、幼くより観音経を読み奉り、たもち奉りたりければ、「助け給へ」と思ひ入りて、ひとへに頼み奉りて、この経を夜昼いくらともなく読み奉る。「弘誓深如海」とあるわたりを読む程に、谷の底の方より物のそよそよと来る心地のすれば、「何にか。あらん」と思ひて、やをら見れば、えもいはず大きな蛇なりけり。長さ二丈ばかりもあるらんと見ゆるが、さしにさして這ひ来れば、「我はこの蛇に食はれな2んずるなめり。悲しきわざかな。観音助け給へ」とこそ思ひ A、3こはいかにしつる事ぞ」と思ひて念じ入りてある程に、ただ来に来て、我が膝のもとを過ぐれど、我をのまんと 2さらにせず。ただ谷より上さまへ登らんとする気色なれば、「いかげせん、ただこれに取り着きたらば、登りなんかし」と思ふ心つきて、腰の刀をやはら抜きて、この蛇の背中に突き立てて、それにすがりて、蛇の行くままに引かれて行けば、谷より岸の上さまにこそこそと登りぬ。その折、この男離れて退くに、刀を取らんとすれど、強く突き立てければ、え抜かぬ程に、引きはづして、背に刀さしながら、蛇はこそろと渡りて、向ひの谷に渡りぬ。この男うれしと思ひて、家へ急ぎて行かんすれど、この二三日、いささか身をもはたらかさず、物も食はず過したれば、影のやうに痩せさらばひつつ、がつがつと、やうやうにして家に行き着きぬ。

さて家には、「今はいかがせん」とて、跡とふべき経仏の営みなどしけるに、かく思ひかけずよろほひ来たれば、3驚き泣き騒ぐ事限りなし。かうかうの事と語りて、「観音の御助けにて、かく生きたるぞ」と、あさましかりつる事ども、泣く泣く語りて、物など食ひて、その夜はやすみて、4つとめてとく起きて、手洗ひて、いつも読み奉る経を読まんとして引きあげたれば、あの谷にて蛇の背に突き立てし刀、この御経に、「弘誓深如海」の所に立ちたり。見るに、いとあさましなどはおろかなり。「こは、この経の蛇に委じて、我を助けおはしましけり」と思ふに、あはれに貴く、かなし、いみじと思ふ事限りなし。5そのあたりの人々これを聞きて、見あさみけり。

(「宇治拾遺物語」による。)

問一 a あらん、b んずるをそれぞれ文法的に説明しなさい。

問二 A にあてはまる助動詞「つ」について、適切な活用形にして書きなさい。問三 1谷に落ち入りぬべし、2さらにせず、4つとめてとく起きてを、それぞれ口語訳しなさい。問四 3驚き泣き騒ぐ事限りなしとありますが、男の家の者が驚いたのはなぜですか。その理由を四十文字以内で書きなさい。問五 5そのあたりの人々これを開きて、見あさみけり」とありますが、人々が驚嘆したのはなぜですか。「これ」の内容を明らかにして、その理由を八十文字以内で書きなさい。

四 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領

国語

国語総合

2 内容

A 話すこと・聞くこと

(1) ウ

には、「課

題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。』と示されています。この指導事項を踏まえて、グループ内で課題に応じて話し合う学習活動を行うこととします。その際

の評価の観点及び評価規準を、それぞれ簡潔に書きなさい。ただし、評価の観点及び評価規準は三つずつ定めることとします。

(七枚のうち七)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

【五】 次の文章を読んで、問一〜問六に答えなさい。(設問の関係で返り点・送り仮名を一部省略している。)

宋ニ有^ニリ富人^一。天 雨フリテ 牆^{かま} 壊ル。其ノ子 曰ク、「不^レハ 築カ 且^レニ有^レラント 盗^一。」
 其ノ隣 人之 父モ **A** 云フ。暮レテ 而 果タシテ 大イニ 亡^ニフ 其ノ 財^一ヲ。其ノ家 甚^ダ
 知^ニナリトシ 其ノ 子^一ヲ 而モ 疑^ニフ 隣 人之 父^一ヲ。

昔^a 者 鄭ノ 武 公 欲^レシ 伐^レタント 胡^ヲ、 迺^ナチ 以^ニテ 其ノ 子^一ヲ 妻^レハス^ニ。 因^b 問^ニヒテ
 群 臣^一ニ 曰ク、「吾 欲^レス 用^レキ 兵^ヲ。 誰^カ 可^レキ 伐^ツ者^ゾ。」 闕 其 思 曰ク、「胡
 可^レシト 伐^ツ。」 迺^チ 戮^ニシテ 闕 其 思^一ヲ 曰ク、「胡ハ 兄 弟 之 国 也。 子 言^レフハ 伐^レタント
 之^ラ 何^ソ 也ト。」 胡 君 聞^キキ 之^ヲ、 以^テ 鄭^ヲ 為^{シテ} 親^シムト 己^ニ 而 不^レ 備^レヘ 鄭^ニ。

鄭 人 襲^レヒテ 胡^ヲ 取^ル之^ヲ。
 此ノ 二ハ、 説^ク 者 其ノ 知 皆 当^レリ 矣。 然^レドモ 而 甚^ダシキ 者^ハ、 為^レ 戮^サ、 薄^キ 者^ハ
 見^レ 疑^ハ。 非^ニザル 知^ルコト 之 難^キニ 也。 処^スルハ 知^ニ 則^チ 難^キナリ 矣。

(「史記」による。)

(注) 闕其思 〓 鄭の武公に仕えた人物。

問一 **A** にあてはまる最も適切な語を、次のア〜オの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 而
- イ 与
- ウ 欲
- エ 亦
- オ 非

問二 昔^a 者、 因^b の本文中における読み方を、送り仮名も含めてそれぞれ現代仮名遣いで書きなさい。

問三 且¹ニ有^ラント 盗²、 誰^カ 可^キ 伐^ツ者^ゾを、それぞれ口語訳しなさい。

問四 鄭 人 襲^レヒテ 胡^ヲ 取^ル之^ヲとありますが、胡は、なぜ奪い取られたのですか。その理由を六十字以内で書きなさい。

問五 見^レ 疑^ハを、書き下し文にしなさい。

問六 処^スルハ 知^ニ 則^チ 難^キナリ 矣とありますが、筆者は、なぜこのように述べるのですか。その理由を六十字以内で書きなさい。

